

1. 科目コード

1289

2. 科目名

S51: 日本の国際協力ーSDG's達成への取組ー

3. 担当教員

高田 浩幸 (Hiroyuki Takada)

4. 開講期

秋1期

5. 履修要件(前提科目)・重要情報

なし

6. 科目の目的・概要

本科目は日本の国際協力について、日本の近現代の発展の歴史、協力の理念、実施体制、具体的な事例などの考察を通じて学びます。また日本の国際協力がどのようにSDGsの達成に貢献しているかを考察します。本科目では、学生ひとりひとりの研究課題、関心事項をSDGsに関連づけ、国際協力に貢献する方策を考える能力を養うことを目的とします。

7. 授業概要

- 1 コースオリエンテーション・日本の近現代発展史
- 2 開発理論の変遷・日本の国際協力の歴史・日本の国際協力の仕組み
- 3 JICA概要・支援形態と事業内容
- 4 JICA事業予算規模とステークホルダー
- 5 技術協力概要
- 6 技術協力事例研究
- 7 無償資金協力概要と事例研究
- 8 有償資金協力概要と事例研究
- 9 国際緊急援助・海外協力隊・市民参加・民間連携概要
- 10 国際緊急援助・海外協力隊・市民参加・民間連携事例研究
- 11 SDGs概要
- 12 SDGs達成に向けたJICAの取組みと事例研究
- 13 最終発表会
- 14 科目総括
- 15 国際協力への関わりとキャリアパス
- 16

8. 教科書

本科目は教科書を使用しません。

9. 参考書

本科目は参考書を使用しません。

10. 科目の学習目標

- (1) 日本の国際協力の歴史、理念、実施体制を理解する。
- (2) JICAの国際協力を具体的事例から理解する。
- (3) SDGs達成へのJICAの取組を理解する。
- (4) 研究課題、関心事項をSDGsに関連づけ、国際協力に貢献する方策を提案することが可能になる。
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)

11. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標			学習目標
高度ICT スキルの修得	基礎的素養		
	専門知識および業務応用力		
人間力 (=探究力) の修得	自ら強みを磨き続ける力		
	自ら社会における 課題を発見し、 解決する力	課題設定	(1)(2)(3)(4)
		仮説立案	(1)(2)(3)(4)
		仮説検証	
		実行	
	社会人基礎力	前に踏出す力	
		考え抜く力	(1)(2)(3)(4)
チームで働く力			
職業倫理の修得			

12. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)				○	○	
(2)				○	○	
(3)				○	○	
(4)				○	○	
(5)						
(6)						
(7)						
(8)						
配点				60	40	

13. 評価基準

期末試験	
小テスト	
レポート	
発表	アクティブラーニングを通じた学生の科目に関する理解の向上を目指していることから、講義に関連したテーマによる学生の毎回の発表を評価の対象とする。
成果物	最終発表会で用いるプレゼンテーション資料を成果物とする。日本の国際協力に関連する情報を収集整理し、学生の研究課題や関心事項をSDGsに関連づけて分析し、日本の国際協力の特徴(事業形態)を踏まえた提案となっているか評価する。
その他	

14. アクティブラーニング(A:行っている B:やや行っている C:行っていない)

授業時間全体に占めるアクティブラーニングの時間的な割合		40%
1	授業で得られた知識や技能を活用し、出題された問題を解いたり、課題に取り組むなど能動的学習を行う	A
2	グループワークで課題に取り組み、学生同士が自由に発言することで何らかの課題に取り組むなど能動的学習を行う	C
3	能動的学習の成果を発表し、そのフィードバックを得て自ら主体的に振り返り、学習効果を高める	A
4	学生自身が主体となって、授業における学習の方向性を定める	C

15. 備考

1. 本授業はオンラインのみで実施します。
2. 学生はPCの準備と通信環境が整った場所から出席願います。
3. 授業時間中、Webサイトを通じた情報へのアクセスが求められます。
4. 授業の参考資料はMoodleを通じて事前に共有されます。
5. 授業日程は秋1期、一部集中講義となります。

16. 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1－2回：日本の国際協力序論	講義:90分 発表:90分
-----------------	------------------

<講義>

コースオリエンテーション

JICAを含む日本のODAの歴史と特徴

国際開発理論の変遷

<発表>

日本の国際協力の強みと弱みー日本の近現代史、開発理論の変遷を踏まえた意見ー

第3－4回：JICA概要	講義:90分 発表:90分
--------------	------------------

<講義>

JICAの概要、歴史、拠点、各部署の機能と役割

支援形態と事業内容

事業予算規模(支援形態別、地域別、分野別)

JICAとステークホルダー

<発表>

個人的経験に基づくJICA事業紹介(事業形態、JICAとステークホルダーの関係等)

第5－6回：事例研究1:技術協力	講義:90分 発表:90分
------------------	------------------

<講義>

技術協力概要

事例研究

<発表>

自身の研究課題、関心事項に関連する技術協力の事例の情報収集と、選んだ案件の概要と成果の要約

第7－8回：事例研究2:資金協力(無償と有償)	講義:90分 発表:90分
-------------------------	------------------

<講義>

無償資金協力概要

有償資金協力概要

<発表>

自身の研究課題、関心事項に係る資金協力の事例の情報収集と、選択した案件の概要と成果の要約。

第9－10回：事例研究3:国際緊急援助、海外協力隊、市民参加、民間連携	講義:90分 発表:90分
-------------------------------------	------------------

<講義>

国際緊急援助、海外協力隊、市民参加、民間連携概要

<発表>

自身の研究課題、関心事項を国際協力で活かすための方策を海外協力隊、市民参加、民間連携の何れかで検討する。

第11－12回：JICAのSDGs達成に向けた取組	講義：90分 発表：90分
---------------------------	------------------

＜講義＞
 SDGs概要
 SDGs達成に向けたJICAの取組
 開発教育とSDGs
 ＜発表＞
 自身の研究課題、関心事項とSDGsのゴールやターゲットとの関連を発表。

第13－14回：最終発表会&科目総括	発表：120分 講義：60分
--------------------	-------------------

＜発表＞
 自身の研究課題、関心事項に関連した国際協力の提案(仮)

＜講義＞
 発表へのコメントと科目全体の総括。

第15回：国際協力への関わりとキャリアパス	講義：90分
-----------------------	--------

＜講義＞
 国際協力に向けたキャリアパスを具体的な事例などを含めて紹介。授業全体を通じて得られた国際協力に関する知識や個人的な思いなどを踏まえて、学生個人の人生の中において国際協力を自分ごととして関わるキャリアパス等について、質疑応答、アドバイスをを行う。